

## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 学習内容への興味・関心を持ちながら学習するための ICT 活用 「アプリ『Google Meet』を活用した外部講師とのやりとり」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部4年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声でのやりとりが活発な児童から、発語がない児童、日常の簡単な語彙であれば理解できる児童などが在籍している。</li> <li>制作活動では、細かい作業や日常動作に苦手さがある児童もいるため、個に応じた支援が必要である。</li> </ul>
授業について  (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	生活単元学習 (図画工作科・生活科)
	単元(題材)名	単元名「張り子だるまをつくろう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>張り子だるまに自分が考えた配色で色を塗り完成させることができる。制作活動の前後にオンラインで張り子職人とやりとりし、作り方を習ったり、できあがりを見てコメントをもらったりする。</li> </ul>
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>遠隔通話アプリ『Google Meet』を活用した外部講師とのやりとり</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○ 外部講師とのやりとりを通して、学習内容への興味・関心を持ちながら学習することができるようにする。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔通話アプリを使用し、外部講師とオンラインで交流した。見え方や画面に登場するタイミングなどを事前に打ち合わせして、児童の興味・関心をより高められるようにした。</li> <li>講師の方に完成した作品を見てもらい、がんばったところを評価していただく上で、児童生徒の実態に合った評価の伝え方について事前に打ち合わせを行った。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、遠隔通話アプリ「Google Meet」、大型モニター
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への興味関心が高まり、意欲的に作品づくりができた。</li> <li>自分の作品が評価されたことや話せたことを喜び、職人さんに会いに行きたい、と複数の児童が発言する様子が見られた。</li> </ul>	

(令和3年度)